

平成3年3月の、日立市市街地西側の山地での森林火災発生後、火災跡地の内、150ヘクタールを市が森林公園「助川山市民の森」として、平成10年3月から市民に開放しました。

「助川山保全くらぶ」は、公園整備中にゴミ拾い等を行いながら歩いてきた有志により、公園育成の応援を目的に発足し、森林火災により荒廃した山に個性的で魅力的な森を再生する活動「ドングリの森づくり」を展開しています。

具体的な活動として、荒廃地への植樹を行うとともに、森林保全活動（植樹箇所の下草刈り）を月2回程度、自然観察会をほぼ毎月実施しています。また、子どもたちの自然体験のサポートとして、保育園や小学校のハイキングの案内や巣箱づくりの指導を行うなど、その活動は地域の環境教育にも大きく貢献しています。

これらの活動が認められ、平成15年度から森の保全活動や管理の一部を公園管理者の日立市から任される「助川山市民の森」の里親団体となりました。昨年度はくぬぎ・こならなど、約600本の植樹を一般市民の参加で行いましたが、今後も、森林育成・保全のための継続的な活動が期待されます。



市民参加による植樹会



くぬぎ・こならの植林



助川山

data5

- ①茨城県日立市、助川町
- ②・JR常磐線日立駅よりバス（青葉台東口下車徒歩10分）
- ④日立市の豊かな自然の特徴である森林の再生を図り、各種動物とふれあえる場所にする、という公園の主旨に賛同して、阿武隈山地南限部の豊かな森の再生と、人と動植物の共生できる自然づくりに、平成10年秋より任意団体「森の自然学校助川山保全くらぶ」を発足させ、活動を続けている。
- ⑤日立市都市整備課
電話番号 0294-22-3111

